

- 誰が 指示 【官】 が指示
- ★誰が 管理 【県】 が管理
- ★誰が 実行 (どのように) 【産】・【学】・【民】 の協力体制で地方の復活を実現する

- 【官】 指示のもと：
- ★【県】 各県知事が指定する管理責任者による管理。 【産】・【学】・【民】 の協力のもとに業務の実現を応援する。
- ★【産】 各県およびその近隣県に「既存している技能指導者」は、「補修」と「撮影」の2種に分け、**技能統括企業**（※下記）の共有化政策のもと、仕様書の詳細にいたる内容の把握・ノウハウ・管理技能（ソフト含む）・サービス規則（労基法等に準じた）の共有化を図り、【民】へ基本技能の伝授を行う。
- ★【学】 各県内の学術研究者等により各県内で所有する古文書の管理場所や原本の状態等の情報整理と再確認等の調査を行う。
- 【官】【県】の指導による「競業の禁止」：
「技術指導するプロ業者」が「高かろう 超良かろう」を「商いの糧」として維持できるよう、【民】による作業においては、補修は、高価な手法を避け、撮影は5070万画素以下のカメラとする、などの設定が必要。
「教える側」と「教わる側」が、近未来に「競業し合わない規則」の確立が必要。
(競業禁止のルール化は、技能養成の円滑化に不可欠)
- ★【産】【民】の基本概念：
として、後日「技能が特に優れた人材」に成長した人材は、指導している企業へ「正規社員として採用する」仕組み等を考慮して【県】に報告する。
- 【官】は、2種類の技能、**補修・撮影**をそれぞれ把握している全国の指導プロに指示指導できる「**技能統括企業**」を**入札(総合評価点制度)**により決定する。
「技能統括企業」は国内のプロ「技能指導者」を集約させ、仕様書の説明とその実行のためのノウハウの共有化を実行させる。
「補修」「撮影」の双方の技能統括企業を分割して入札で決定する。
- 「補修・撮影」ごとの組織の管理者の人員構成：
★【官】 監督 (各県の業務報告を受ける)
★【県】 各県毎に組織を監督 県の会長1名 副会長2名 . . . 市区町村単位の人事は県が指定。【産】の作業管理を確認し【官】に報告する。
★【学】 各県毎に組織を作成 調査リーダー1名 調査 サブリーダー2名 古文書の所在と補修・撮影順位を【民】と共に決定する。
★【産】 各県毎に組織を作成 技能リーダー2名 技能 サブリーダー4名 【民】に技能の伝授を行い、作業の円滑化を図る。
★【民】 各県毎に組織を作成 作業リーダー2名 作業 サブリーダー4名 【学】【民】の指示する作業を円滑に進め次年度には指示指導ができるよう努力する。
- ★【民】 各県単に組織を作成 主力の人材 (仕事に携わる適性に合格した人) は、上記リーダーに指示を仰ぎ、仕事を円滑に実行する。
- 【官】の指示により「実証実験」を都内近郊にて1年間にわたり実行。資料調査と補修&デジカメ撮影の実証実験を指示。
- ★【学】により「古文書の所在確認」
そして「古文書から読み解く未来」を実現する為に、各古文書から「地域の特性」「特産物」「環境調査」「失敗と成功の記録」「県内に在った特化した人材の発掘」「その資料館の設立」等を簡易的に調査して撮影優先順位を決定し【県】【産】に報告する。
「歴史研究者」「経済学者」等、地方の活性化に繋げられる情報を把握し、その実現計画を進める。
- 【県】「作業員募集」「賃金の配布」は、各役所・各役場において高齢者・専業主婦・身障者・ニート等の所在を確認し、働ける可能性のある人材を募集し、【産】による適正合格者へ賃金支払いの対象者として雇用契約を行う。
- ★【産】「技能適性の確認と教育」のために募集された「高齢者」「女性」「身障者」等へ、詳細な各作業の適正確認と技能教育・指示管理体制の確立を下記の技能指導者が行へるように指示。
- ★【県】は【産】【学】【民】の全員に守秘義務契約：
関わる仕事は古文書であり、日本の各地域が所有する独自の過去の記録 (オリジナルデータであり判読が困難なものばかりと想定できるが) であり、各地域の地名・氏名など古くからの情報が多々記載されているため、万一を考慮して守秘義務契約書を交わす。

- ★【学】による「調査」：
各県内の大学や高校の歴史学者等の参加、また県市区町村史編纂・郷土資料館等を含めて、簡易でつつも歴史資料の選定ができる担当者を決め、全史料協 (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会)・国文学研究資料館等 既存の管理組織と連携して「古文書の所在情報」の集大成を行うことを実行。
- 1 : 「古文書」の所在確認と劣化状況の確認 (画像・写真等で記録)
- 2 : 既存情報の収集【何処に】 (GPS 情報・標高)【何が---どのくらい】 (現場の画像撮影 : 古文書の管理環境・分量・予測される丁数量)
- 3 : 目録情報 (横断検索用)【ID 番号の付与・年代・資料名・作成者 (部署)・備考等】
- ★【学】【産】により「補修・撮影」のデータ等に分かれ、統一した「目録情報」を作成して記載する。

【補修技能】

- 【官】による【産】（補修技能の技能統括企業）の選定は入札とする。（総合評価点制度）

★【産】「補修技能の伝授」:

「補修」が必要な古文書は、デジタルカメラ撮影に先んじて「補修の技能」を専門家方が技法を伝授。
(作業内容は、高価で技能を要する補修にはこだわらず、簡易型漉き嵌め法による補修技術なども考慮して対応する)

- ★【産】補修技能の技能統括企業は、各地にある既存企業・修復会社・ボランティア団体等（裏打ち・漉き場め方の経験者）を集めて技能の統一化を図る。(SNS を利用した共有化)
その仕様と指導者への指導内容は録画。それらを教科書の一つとして潜在的労働者へ共有させて現場で指導できる体制を作る。

- 1：補修のための仕様の統一（被写体別に生ずる多くの課題を専門同志の統一化を図る）
- 2：補修設備の統一（機材と管理ソフトは全国で統一化を図る）
- 3：教育者の選定と教育方法の統一
- 4：作業者と面接と適正確認
- 5：各県において、班長1名・副班長2名で指導ができるチームを作成。
- 6：高齢者等の教育（素人の補修者のセミプロ化 教育：1～3か月を要する）

【撮影技能】

- 【官】による【産】（撮影業務の技能統括企業）の選定は入札（総合評価点制度）とする。

★【産】「撮影技能の伝授」:

撮影の技能統括企業は、各地にある既存プロ企業・撮影経験者・ボランティア団体等を集めて技能の統一化を図る。
その仕様と指導者への指導内容は録画。それらを教科書の一つとして潜在的労働者へ SNS で共有化させて現場で指導できる体制を作る。

- 【官】は【県】と【民】（技能統括企業）

に指示する。撮影技能統括企業は、NDL 大量電子化レベルの高い電子化対応の技術を持ち、宮内庁御用達・徳川家史料の撮影等を経験した古文書の撮影に専属した高い技能の実績を重ねる【民】を、【官】が募集して指定業者を複数社選定して決定。
(官は入札に先立ち、立候補する各企業から提案書・報告書・サンプル画像・経歴・教育方針等を提出させる)

★【産】技能統括企業は

- ・各地域のプロ撮影団体の人材に、全国共通の仕様書を説明、撮影・品質のノウハウを作成し、共有化する。
- ・文書情報管理士（公益社団法人日本文書情報マネジメント協会）や電子化ファイリング検定（一般社団法人日本経営協会）等の知識を持ち、そして古文書等に特化した経験を持つプロの人材を募集。各県にて教育指導者となる人物を選定し、仕様書の詳細内容を把握させ、作業指導者としての適性を確認する。

それらプロの人材は、各県における教育指導者と共に機能させる体制を作る。

その仕様と指導者への指導内容は録画。それらを教科書の一つとして潜在的労働者へ共有させて現場で指導できる体制を作る。

- 1：撮影にかかわる仕様書の統一：大量作業の実績を加味してNDL様大量電子化と同様以上の仕様とする。
- 2：撮影等の設備とソフトの統一：使用する高画素カメラ（5070万画素以下）とパソコンは一般向販売品とし、機材とソフトの統一を図る。
(仕様共有の為)
- 3：教育者の選定と事前教育 上記のとおり
- 4：作業者の面接と適正確認
- 5：作業者の教育目標の共有化（素人の撮影者のセミプロ化 教育：1か月を要する）

- ★【民】教育指導者は潜在的労働者（高齢者・専業主婦・身障者・ニート等）を指導:

各作業者として主とする雇用体制を目指す。よりの確な健常者が発掘できた場合には健常者の参加も臨時で対応する。

統一された撮影設備の元に技能が継承された【民】は、その次の年には教育指導者として動くなど、ネズミ算式に技能の継承が図れることを目指す。

★【産】【民】「品質の維持」:

古文書の撮影において、事前の「補修」、および「撮影」の業務は、潜在的労働力（高齢者方・女性・身障者・ニート等）でも可能に近い非3K（ほとんどが）の作業であるが、「費用として 安かろう、品質としてそこそこ良かろう」を目指す。

- ・「目標とする撮影仕様の品質」は国立国会図書館大量電子化（2010年実施）の撮影技能と同等以上とし、「出来上がりの品質見本を配布」して【産】は品質低下を防ぐ。国産の一眼レフのデジタルカメラを使用し、世界に恥じない（原寸400dpi）レベルの品質を維持する。

- ・「古文書の状態」により様々な手法での対応が必要となる場合、【県】と【産】の指示に従って対応する。

「補修」と「撮影」「事前の所在等の調査」と「各技能の指導」など、

又、「画像処理」・「目録情報入力」・「原本と画像」の前後処理等は、現物に対処するため撮影と平行して均一化を図り進行する。